

【花咲プロジェクト in 大槌】

昨年に引き続き、今年も大槌の仮設住宅での花の苗の植え替えのお手伝いに参加した。建築士会からは女性委員8名[盛岡・滝沢・花巻・奥州]の参加、午前10時から約80分の作業であった。



5月は連休後は小学校の運動会開催と週末は行事があり、かといって北国の春は4月と違って待つてはくれないスピードで木々は緑を増していく。そんな中、大槌の仮設住宅の自治会リーダーの東谷さんからの開催時期の希望もあっての今開催となった。



プロジェクトも数回重ねるに従い、状況に応じて無駄な動きを極力避けてスムーズに行なえる様になってきた。例えば、一年前は土・苗等も内地からの持込としていたのを現地近くに園芸店からの調達、住人への配布も東谷さんの事前確認という下準備も済ませて臨むことができた。



ただ、計画自身は事無く進んだが'状況'は時間経過とともに毎回同じとはならない。する側される側の希望とは別な面も生じたりする。回数を重ねれば重ねるほど'別もの'という緊張感、意識は必要かなと思われた。

今回は作業後に集会室にてご用意くださった昼食をともにいただく機会も得て、気持ち的に十分満たされた思いで終えることが出来た。

その後は、この5月10日に釜石・平田の仮設住宅のなかにお目見えしたタジン鍋風集会場を見学した。



五月晴れのこの日、屋根のシートから明るい日差しが間接光となって、建物内のスペースを柔らかく包んでいた。



気持ちは軽やかに、何よりのご馳走だと思った。